



## 平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月10日

上場会社名 フロイント産業株式会社  
 コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 伏島 巖  
 (氏名) 高波 裕二

TEL 03-6890-0750

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	13,745	△6.9	1,152	△20.0	1,174	△21.0	849	4.1
29年2月期第3四半期	14,767	12.9	1,441	98.2	1,486	89.6	815	93.1

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 847百万円 (78.5%) 29年2月期第3四半期 474百万円 (33.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	49.26	—
29年2月期第3四半期	47.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
30年2月期第3四半期	19,755		12,688		64.2	735.78		
29年2月期	19,101		12,185		63.8	706.62		

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 12,688百万円 29年2月期 12,185百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年2月期	—	0.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年2月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭

### 3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	21,000	△0.8	2,100	2.9	2,100	0.1	1,400	31.5	81.19	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ(3)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年2月期3Q	18,400,000 株	29年2月期	18,400,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年2月期3Q	1,155,478 株	29年2月期	1,155,478 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年2月期3Q	17,244,522 株	29年2月期3Q	17,244,538 株
----------	--------------	----------	--------------

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や、堅調な雇用・所得環境を背景に、緩やかな回復基調が続きました。

一方で、米国の政権・政策運営の不透明感や、北朝鮮を巡る国際的な緊張の高まりなどが、金融市場の動揺などを通じて国内景気を攪乱するリスクがあり、動向には引き続き留意が必要な状況にあります。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界は、薬価改定やジェネリック医薬品使用促進などの医療費抑制策の強化や、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などにより、先進国を中心に成長が鈍化しており、新興国への市場移行やジェネリック医薬品の市場拡大が進んでおります。

また、政府によるジェネリック医薬品の使用促進政策により、ジェネリック医薬品業界の設備投資が活発化され、これまで当社の業績に寄与してまいりましたが、薬価引き下げが顕在化する中で、ジェネリック医薬品業界にも設備投資抑制の動きが鮮明となってきております。

こうした情勢のもと、当社グループは、独創的な新製品の開発や、顧客ニーズを捉えた営業活動を展開するとともに、積極的に新分野への展開を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高137億45百万円(前年同期比6.9%減)、営業利益11億52百万円(同20.0%減)、経常利益11億74百万円(同21.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益8億49百万円(同4.1%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ・機械部門

造粒・コーティング装置を主力とする機械部門においては、ジェネリック医薬品業界の設備投資抑制の動きの影響や、米国子会社FREUND-VECTOR CORPORATIONにおいて、低採算の大型案件や固定費負担増加の影響等により、売上高、営業利益ともに減少となりました。

この結果、売上高は97億47百万円(同2.6%減)、営業利益は9億10百万円(同21.1%減)となりました。

#### ・化成品部門

医薬品の経口剤に使用される機能的添加剤は、ジェネリック医薬品業界向け等順調に推移し、売上高、営業利益ともに増加となりました。

食品品質保持剤は、積極的な営業展開を図り、売上高、営業利益ともに増加となりました。

一方、当社技術を活用した栄養補助食品は、主要顧客の内製化の影響により、売上高、営業利益ともに減少しました。

この結果、売上高は39億98百万円(同16.1%減)、営業利益は5億93百万円(同1.4%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億53百万円増加し、197億55百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が5億90百万円、受取手形及び売掛金が3億13百万円減少したものの、仕掛品が12億40百万円、電子記録債権が2億52百万円増加したことによるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億51百万円増加し、70億67百万円となりました。その主な要因は、未払法人税が2億91百万円、賞与引当金が1億39百万円減少したものの、前受金が6億6百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億2百万円増加し、126億88百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、平成29年4月5日の決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,982,822	6,392,780
受取手形及び売掛金	4,282,766	3,968,794
電子記録債権	120,616	372,932
商品及び製品	404,081	300,789
仕掛品	1,712,294	2,952,990
原材料及び貯蔵品	649,160	807,822
前払費用	148,338	105,032
繰延税金資産	251,999	275,960
その他	400,079	351,328
貸倒引当金	△13,507	△13,446
流動資産合計	14,938,653	15,514,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,160,332	1,107,293
土地	1,239,987	1,239,893
その他(純額)	834,614	1,008,483
有形固定資産合計	3,234,934	3,355,670
無形固定資産	55,836	20,859
投資その他の資産		
繰延税金資産	15,073	17,933
その他	862,443	851,488
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	872,116	864,022
固定資産合計	4,162,887	4,240,551
資産合計	19,101,540	19,755,536
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,019,656	2,261,368
電子記録債務	1,038,971	1,011,914
未払法人税等	477,303	185,939
前受金	1,831,994	2,438,072
賞与引当金	260,416	121,044
役員賞与引当金	85,400	58,500
その他	878,731	654,523
流動負債合計	6,592,473	6,731,363
固定負債		
退職給付に係る負債	201,812	210,869
資産除去債務	34,824	34,939
その他	87,072	90,199
固定負債合計	323,709	336,008
負債合計	6,916,182	7,067,371

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,289,513	1,289,513
利益剰余金	10,286,711	10,791,307
自己株式	△201,361	△201,361
株主資本合計	12,410,463	12,915,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,141	40,284
為替換算調整勘定	△233,036	△244,116
退職給付に係る調整累計額	△25,210	△23,063
その他の包括利益累計額合計	△225,105	△226,895
純資産合計	12,185,358	12,688,164
負債純資産合計	19,101,540	19,755,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	14,767,069	13,745,942
売上原価	10,069,748	8,993,321
売上総利益	4,697,320	4,752,621
販売費及び一般管理費	3,256,281	3,599,836
営業利益	1,441,039	1,152,784
営業外収益		
受取利息	1,706	2,062
受取技術料	11,600	10,670
保険解約返戻金	18,424	—
その他	20,499	17,703
営業外収益合計	52,231	30,436
営業外費用		
支払利息	1,937	1,259
為替差損	2,399	5,169
その他	1,984	2,253
営業外費用合計	6,321	8,682
経常利益	1,486,950	1,174,538
特別利益		
固定資産売却益	7,655	—
投資有価証券売却益	14,936	—
投資有価証券償還益	—	62,177
特別利益合計	22,591	62,177
特別損失		
固定資産除却損	1,045	336
固定資産売却損	—	1,923
減損損失	1,616	—
役員退職慰労金	250,000	—
特別損失合計	252,661	2,259
税金等調整前四半期純利益	1,256,879	1,234,457
法人税等	441,210	384,970
四半期純利益	815,669	849,486
親会社株主に帰属する四半期純利益	815,669	849,486

四半期連結包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	815,669	849,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,818	7,143
為替換算調整勘定	△344,976	△11,080
退職給付に係る調整額	1,299	2,147
その他の包括利益合計	△340,857	△1,789
四半期包括利益	474,811	847,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	474,811	847,696



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	10,003,630	4,763,438	14,767,069	—	14,767,069
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,003,630	4,763,438	14,767,069	—	14,767,069
セグメント利益	1,154,303	602,091	1,756,395	△315,355	1,441,039

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△315,355千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「機械」セグメントにおいて、「企業結合に関する会計基準」等を過去の期間のすべてに遡及適用した場合の第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を、資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。当該事象により、第1四半期連結会計期間の期首において、のれんが77,159千円減少しております。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者には有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	中南米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
11,725,000	1,645,760	261,088	423,717	711,500	14,767,069

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 中南米 ……ブラジル等
- (3) 欧州 ……フランス、英国等
- (4) その他 ……アジア等

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	9,747,293	3,998,649	13,745,942	—	13,745,942
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,747,293	3,998,649	13,745,942	—	13,745,942
セグメント利益	910,769	593,945	1,504,715	△351,931	1,152,784

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△351,931千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	中南米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
9,771,354	1,297,648	497,498	1,289,312	890,128	13,745,942

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 中南米 ……ブラジル等
- (3) 欧州 ……フランス、英国等
- (4) その他 ……アジア等

3. 補足情報

● 受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	12,243,473	126.6	8,747,449	71.4
化成品部門	1,733,988	107.5	477,635	27.5
合計	13,977,461	123.9	9,225,085	66.0

(注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。

2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	9,288,900	116.5	7,681,872	82.7
化成品部門	419,761	111.4	131,081	31.2
合計	9,708,661	116.2	7,812,953	80.5

(注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。

2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	10,003,630	67.7	9,747,293	70.9
化成品部門	4,763,438	32.3	3,998,649	29.1
合計	14,767,069	100.0	13,745,942	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。